

H30年2月24日(土) 水巻町中央公民館大ホール

「地域のお宝発表会」

「お宝」とは暮らしの中にある自然な支え合いと捉え、その発見とそこにある意味や価値に気づき、共有していくことから地域づくりを考えます。このような“支え合い”の形は、すでに皆さんの周りにも存在しているかもしれません。地域や友人、ご近所同士など、人と人とのつながりを絶やさないことが、閉じこもりの予防や生きがいにもつながっており、自然な見守りや助け合いが、気づかない中で生まれています。

町内の方々の、たくさんのご参加を頂き、誠にありがとうございました。来年度からの協議体に関しましても、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



民生委員の方々、受付のご協力ありがとうございました。



新水巻手話の会の皆様、ご協力ありがとうございました。

立屋敷区(伊左座校区) 3人でスイカ作り

平成25年の冬頃、「高齢になり、畑ができなくなった。」という相談から始まったスイカ作り。現在は歴代の公民館長さん3人で取り組んでいます。今ではこの畑がひとつの地域交流の場になっています。



吉田一区(吉田校区) 真冬以外は ラジオ体操

朝のすがすがしい空気を吸いながら、ラジオ体操の音楽が流れると自然と体操が始まります。隣り合った地区から参加している人も歓迎しているオープンな雰囲気。夏休みは子ども達も一緒に行っています。(子どもにはイリコ3匹プレゼント)



中央区(頃末校区) ふれあいマーじゃん

「明るく、楽しく、ボケ防止」を合言葉にマーじゃんを楽しく行っています。指先と頭を使うマーじゃんは、認知症予防の効果もあるそうです。終わった後には、近くのうどん屋で食事を楽しまれています。ここには男性の居場所があります。



えぶり区(机校区) 健康体操のつどい

「健康づくりしよっか?」と気の合う仲間が集まりだしたのは10年前。体操を教えているのは、机で生まれ育った男性指導員。みんなで誘い合い、準備も後片付けもみんなで一緒にします。ここには、お互いに気かけ合うつながりがあります。



おかの台区(猪熊校区) ひまわりサークル

「ふれあい体操」が呼び水となり、生まれたサークル。体操、編み物、紙工作と認知症予防となり、みんなで食事をしてワイワイガヤガヤ楽しんでいます。「みんな元気で病気もしないので、今のところ課題はないの」と健康長寿の秘訣にもなっています。お互いが見守り見守られている活動の場所となっています。



講師 酒井 保氏 (ご近所福祉クリエイター) 他 生活支援コーディネーター3名



暮らしの中には様々な“居場所”があります。その暮らしの中にある「自然な支え合い」、また、住民参加による「支え合いの地域づくり」を進めていきます。

主催 水巻町／水巻町社会福祉協議会
後援 水巻町区長会／水巻町地区公民館長連絡協議会
水巻町民生委員・児童委員協議会／水巻町老人クラブ連合会
協力 新水巻手話の会

